

国内クレジット認証委員会御中

審査結果概要書

平成 22 年 7 月 12 日

審査機関名 SGS ジャパン株式会社

1. 排出削減事業の概要

排出削減事業名	C 重油ボイラから都市ガスボイラへの更新プロジェクト
排出削減事業者名	森保染色株式会社
排出削減共同実施事業者名	株式会社 FT カーボン
事業実施場所	森保染色株式会社 (愛知県一宮市三条字下り戸 32 番地)
事業の概要	C 重油ボイラ 3 基を都市ガスボイラ 4 基へ更新する。高効率の都市ガスボイラへ更新し、単位発熱量あたりの CO2 排出量が少ない都市ガスへ燃料転換することで、CO2 排出量を削減する。
排出削減量の計画	2009 年度 : 270 tCO2/年 2010-2012 年度 : 1,618tCO2/年 (事業実施期間合計 5,124 tCO2)
国内クレジット 認証期間	開始日 2010 年 2 月 7 日 終了予定日 2013 年 3 月 31 日
排出削減方法論	方法論番号 001 ボイラーの更新

2. 審査結果

本事業は、排出削減事業の要件に適合している

3. 実施した審査手続の概要

審査手続により、以下の排出削減事業の認証の要件の妥当性を確認している。

要件	審査手続
日本国内で実施されること	事業計画が日本国内で実施されていることを、事業サイトを訪問して確認した。 排出削減事業実施場所： 森保染色株式会社 (愛知県一宮市三条字下り戸 32 番地)
追加性を有すること	1) 本事業は、法的義務等の遵守のために計画されたものではなく、CO ₂ 排出量の削減を目的として実施されたことを、関係者への質問等により確認した。 2) 排出削減事業を実施せず、設備更新を行わない場合、既存設備を継続して利用できることを、ボイラ月報、官庁届出書類及び請求書等の確認、現地において事業者への質問等により確認した。 3) 排出削減事業の投資回収年数は 12.9 年である。投資回収年数計算の根拠データについて、事業者及び関係者への質問及び検算、関連証憑との突合により適切性を確認している。 4) 当該事業者は CO ₂ 排出量が多く、環境配慮の意識やエネルギー節約の面から積極的な CO ₂ 排出削減活動を考えている。この国内クレジット制度の活用により、環境への取り組みに対するアピール効果と省エネ効果が期待できることが事業実施の一因となっている。
自主行動計画に参加していない者により行われること	排出削減事業者への質問、関係者への質問等により、自主行動計画に参加していない事業者であることを確認している。
排出削減方法論に基づいて実施されること	1) 本排出削減事業は、承認済排出削減方法論 001 に基づき排出削減量を計算しており、また、方法論の適用条件を満たしていることを確認している。 適用条件 1: 既存ボイラ並びに新設ボイラの機器仕様書(カタログ)を参照し、高効率のボイラ設備に更新されたことを確認している。

	<p>適用条件 2: 既存ボイラの過去の運転及び請求書を確認し、更新を行わなくても既存設備のまま継続的に使用できることを確認している。特に法定耐用年数の 2 倍を超過したボイラについては、官庁届出書類、日常点検の記録、運転状態等を確認する事により、問題がないことを確認している。</p> <p>適用条件 3: 事業実施前及び実施後のボイラ蒸気が、継続的に自家消費されている状況であること、今後も継続することを、現地視察及びヒアリングによって確認している。</p> <p>2) その他、バウンダリの設定、ベースラインの設定、リーケージの特定、排出削減量、モニタリング方法が適切であることについて、それぞれ質問と関連証憑により確認している。</p>
--	--

上記の詳細については、別紙「排出削減事業の要件についての確認事項一覧」を参照すること。

4. 特記事項

投資回収年数については、補助金を除いた純投資額をもとに算出している。

以上